

平成30年度

下水道普及活動 年間報告



建設部 下水道課

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

6

安全な水とトイレ
を世界中に



11

住み続けられる
まちづくりを



14

海の豊かさを
守ろう



目次

下水道普及活動の年間報告概要について	1
下水道普及活動内容について	1
アンケート結果について（総計）	6
その他 表彰について	7

下水道普及活動の年間報告概要について

東松島市の下水道課では、私たちの生活に深く関わりのある下水道について、災害時用トイレ（マンホールトイレ）の利用やクイズ等を通して、市民の方々に理解と関心を深めていただくため、下水道事業における普及・啓蒙活動を行っております。

本報告書は、平成 30 年度における下水道普及事業について、内容をまとめたものになります。

下水道普及活動内容について

平成 30 年度では、市内のイベント及び防災活動に参加し、全部で、7つの活動を行いました。その活動を下記にまとめております。

前年度の活動より比較すると実際にマンホールトイレを利用したイベントは4回から2回に減りましたが、その分、自主的に組立等を行えるようにする研修の回数が多く、防災意識の向上に繋がったのではないかと思います。

年間を通したアンケートでは約 80%の方から「災害時はマンホールトイレを使いたい」との回答がありました。

開催日時	イベント名	イベント 来場者	ブース 来場者	トイレ 利用者	アンケ ート	クイズ	マンホール カード
7月21日	被災地ボランティア研修	40人	×	×	×	×	×
9月2日	オール赤井まつり	3,000人	約250人	×	6枚	112枚	173枚
9月26日	災害時実務研修	15人	×	×	15枚	×	×
10月7日	ガールスカウト視察	45人	×	×	×	×	×
10月14日	のびる秋まつり	1,300人	約80人	約30人	※15枚	9枚	30枚
11月27日	野蒜地区防災研修会	12人	×	×	×	×	×
12月2日	かき祭り	11,000人	約500人	約200人	59枚	16枚	183枚
合 計		15,412人	約830人	約230人	95枚	137枚	386枚

×未実施、※15枚（通常8枚、簡易小便器7枚）

7月21日 被災地ボランティア研修

【概要】

東京都にある学校「目黒星美学園中学高等学校」より、第14回被災地ボランティア研修の実施を行うにあたり、講師依頼を受け、本市が実施しているマンホールトイレの取り組みやマンホールトイレの組み立て方について研修を行いました。

マンホールトイレの組立	本市の取組状況の説明	採用案を取り入れたロゴ
		

【活動実績】

マンホールトイレの設置台数

女性用2基、男性用1基、多目的用1基、合計4基（洋式）を設置。※設置のみ

下水道課における普及・啓発活動

目黒星美学園中学高等学校より被災地災害ボランティアの活動で参加した高校生及び引率者40名に対して、マンホールトイレの取り組みや組み立て方について、説明を行った。また、生徒にはマンホールトイレのネーミング（愛称）を考えてもらい、案の中から「災害時あんしんマンホールトイレ」を採用してもらい、ロゴを作成し、新年度からマンホールトイレ設置施設への掲示を行うこととした。

危機対策専門員及び下水道課職員2名対応。

9月2日 オール赤井まつり

【概要】

東松島市の赤井地区のお祭りである「オール赤井まつり」に参加しました。オール赤井まつりでは、マンホールトイレの仕組みを、より理解していただけるよう、説明員を配置し、マンホールトイレの仕組みの図やマンホールトイレを展示しました。

マンホールトイレの展示	マンホールトイレ見学	多くの方にご来場いただきました
		

【活動実績】

マンホールトイレの設置台数

女性用1基（洋式）を設置。※展示のみ

下水道課における普及・啓発活動

下水道啓発パネルの展示、マンホールトイレアンケート、下水道クイズ、下水道なんでも相談コーナー、マンホールカードの配布を実施。

アンケート6枚、下水道クイズ112枚を回収し、回答者に下水道啓発冊子を配布。マンホールカード173枚配布。ブース来場者約250人。

危機対策専門員及び下水道課職員6名対応。

9月26日 災害時実務研修

【概要】

震災から7年が経過し、本市の職員においても、災害時における実務を経験したことがない職員も増えていることから、大災害への備え・伝承を目的として開催された災害時実務研修の中で、災害時に備える防災施設として、マンホールトイレの設置等について研修を行いました。

マンホールトイレの説明	マンホールトイレ組立	ポンプの組立
		

【活動実績】

マンホールトイレの設置台数

女性用2基、男性用1基、多目的用1基、合計4基（洋式）を設置。※設置のみ

下水道課における普及・啓発活動

他市町村からの派遣職員や市の若手職員15名に対して研修を行った。

災害時における防災施設等への知識向上や設置方法を学ぶことで、市役所が一体となって災害対応を行えるような実りのある研修になった。

危機対策専門員及び下水道課職員2名対応。

10月7日 ガールスカウト視察

【概要】

亀岡自治会より、ガールスカウトの活動の一環として、被災地の視察と伝承を行うため、講師依頼がありました。当日は、北海道から45名が参加し、本市が実施しているマンホールトイレの取り組みやマンホールトイレ仕組みについて説明を行いました。

マンホールトイレの説明	マンホールトイレの見学	トイレ備品の説明
		

【活動実績】

マンホールトイレの設置台数

女性用1基（洋式）を設置。※展示のみ

下水道課における普及・啓発活動

北海道からガールスカウトの活動で参加した45名に対して、マンホールトイレの仕組みや組み立て方について、説明を行った。

下水道課職員2名対応。

10月14日 のびる秋まつり

【概 要】

東松島市の野蒜地区で、交流と親睦を深めるために開催される「のびる秋まつり」に参加しました。のびる秋まつりでは、地元の中学生を含むボランティアスタッフとともに、マンホールトイレの設営から運営等を行い、有事の際に、自治会において災害への対策を行えるようマンホールトイレの普及活動を行いました。

マンホールトイレ設置	使用後の手押しポンプ	下水道課ブース
		

【活動実績】

マンホールトイレの設置台数

女性用1基、男性用2基、多目的用1基、合計4基（洋式3、簡易小便器1）を設置。
※設置及び利用

下水道課における普及・啓発活動

下水道啓発パネルの展示、マンホールトイレ利用者アンケート、下水道クイズ、下水道なんでも相談コーナー、マンホールカード配布を実施。

アンケート15枚（通常8枚、簡易小便器7枚）、下水道クイズ9枚を回収し、回答者に下水道啓発冊子を配布。マンホールカード30枚配布。

ブース来場者約80人。マンホールトイレ利用者約30人。
危機対策専門員及び下水道課職員4名対応。

11月27日 野蒜地区防災研修会

【概 要】

東松島市野蒜地区の自治会より講師依頼を受け、マンホールトイレの組み立て方や災害時における対応について研修を行いました。

マンホールトイレの説明	マンホールトイレの組立	マンホールトイレ設置完了
		

【活動実績】

マンホールトイレの設置台数

女性用1基、多目的用1基、合計2基（洋式）を設置。※設置のみ

下水道課における普及・啓発活動

野蒜地区の自治会の防災研修会に参加した12名に対して、マンホールトイレの取り組みや組み立て方について、研修を行った。

下水道課職員2名対応。

12月 2日 東松島市観光と物産のPR会×かき祭り

【概要】

東松島市の野蒜地区で開催される「東松島市観光と物産のPR会×かき祭り」に参加しました。本イベントでは、前年度のアンケート結果から、寒さ対策のプチプチの便座シート、紙詰まり対策の流し水、荷物かけフックや鏡などを設置し、より快適に使って頂けるよう工夫し、アンケート等により新たな課題等を知ることができました。

アンケート結果から、より快適に	下水道課ブース	多くの方にご来場いただきました
		

【活動実績】

マンホールトイレの設置台数

女性用1基、男性用2基、多目的用1基、合計4基（洋式3、簡易小便器1）を設置。
 ※設置及び利用

下水道課においての普及・啓発活動

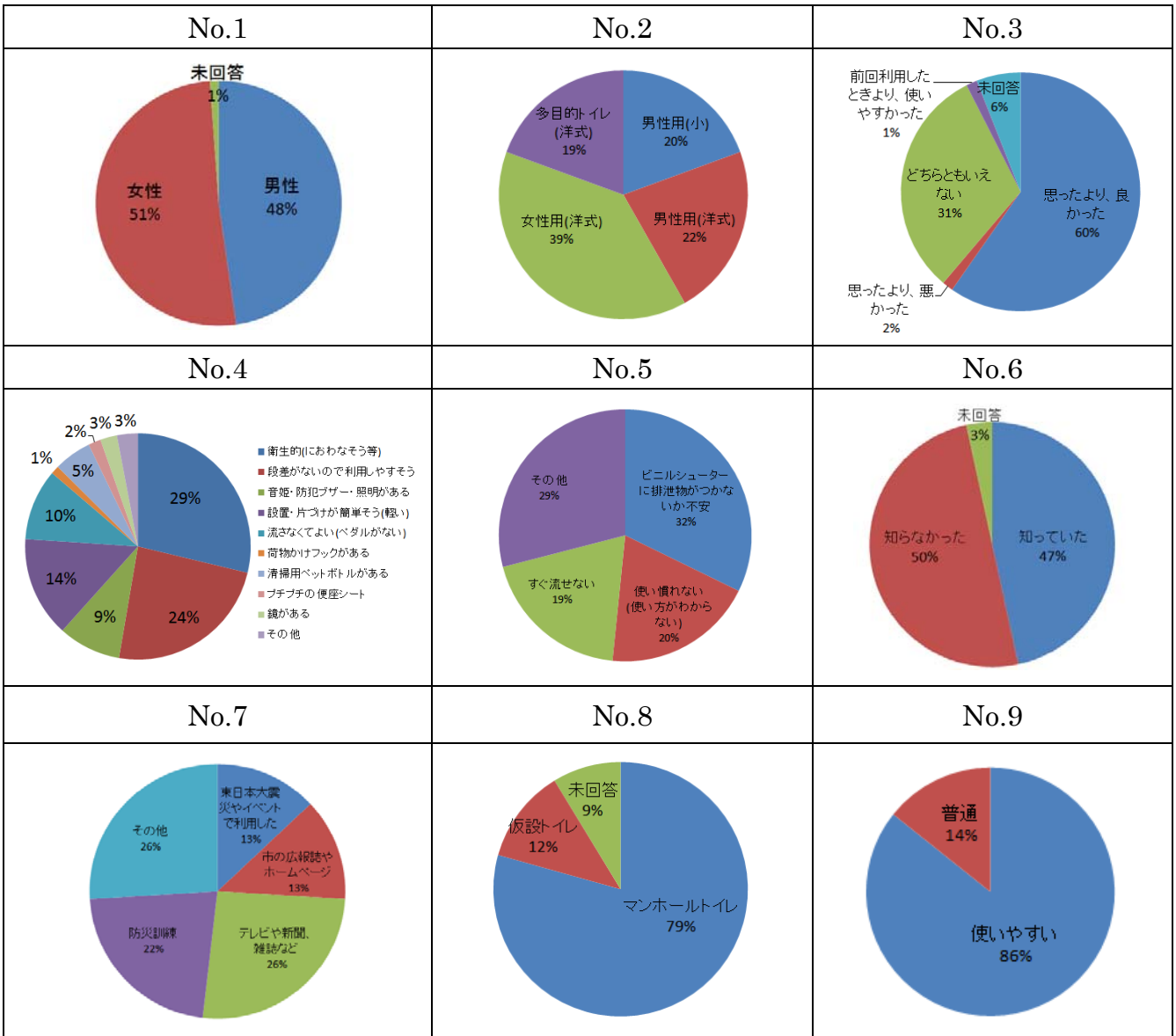
下水道啓発パネルの展示、マンホールトイレ利用者アンケート、下水道クイズ、下水道なんでも相談コーナー、マンホールカード配布を実施。

アンケート59枚、下水道クイズ16枚を回収し、回答者に下水道啓発冊子を配布。マンホールカード183枚配布。危機対策専門員及び下水道課職員4名対応。

ブース来場者約500人。マンホールトイレ利用者約200人。

アンケート結果について（総計）

No.	質問内容	総枚数
1	性別はどちらですか？	88 枚
2	利用したトイレはどれですか？※利用時のみ	67 枚
3	利用した感想は？※利用時のみ	67 枚
4	良いと思った点はどこですか？（複数回答）	88 枚
5	不安に思った点はどこですか？（複数回答）	88 枚
6	マンホールトイレを知っていましたか？	88 枚
7	マンホールトイレを知ったきっかけは？（複数回答）	88 枚
8	災害の時は、トイレが使えなくなるかもしれません。その際、使いたいのは、どちらですか？	88 枚
9	簡易小便器について	7 枚

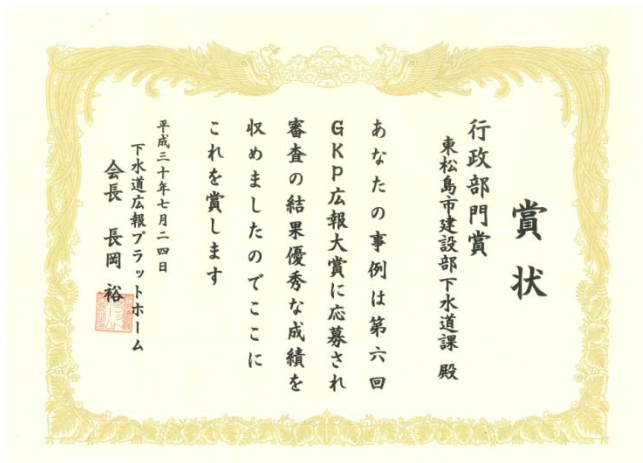


その他 表彰について

平成29年度までに下水道課が行った下水道普及活動に対し、その実績が評価され、表彰を受けました。その表彰内容について、紹介します。

平成30年7月24日

平成30年度GPK（下水道広報プラットフォーム） 広報大賞 行政部門賞 受賞



「GPK広報大賞」は、下水道界で展開されている広報活動のうち、他業界への効果的な訴求など下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる広報活動事例に対して表彰されるものになります。

本市の平成29年度の下水道普及啓発活動で、マンホールトイレを4回のイベントで設置し、実際に約580人の方に使用していただき、普段使いをすることで、下水道への理解を深め、更なる普及啓発活動を促進に繋がりました。また、151人からアンケートをいただき、施設の検証をすることができました。この「体験型」の活動が全国への拡がりを期待され、表彰を受けました。

平成30年11月3日

第3回 日本トイレひと大賞 受賞（日本トイレ研究所）

「日本トイレひと大賞」は、トイレ環境や排泄をとおして社会が抱えている課題に取り組む「ひと」に対して表彰されるものになります。今回、東松島市が行っている「見て触る」から、「使う」というコンセプトのもと、イベント等で普段使いをし、実際に使用することで、使用訓練にもなり、マンホールトイレの啓発活動を促進し、下水道への理解を深め、使用者からアンケートを取ることによって施設の検証改善を行った活動に対して表彰を受けました。

今年度以降も、施設の更なる充実を図りながら、イベントで使用することで、多くの市民に利用していただけるよう、日程等調整しております。小中学校の運動会で使用することで、子供達からお年寄りまでの訓練になると考え、学校と調整し実現してまいります。

